



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ

地域コミュニティを核とした
天栄だからできる少人数教育

2023.7.14

教育委員会だより No.144



愛村心（I尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

合同引き渡し訓練・村一斉オンライン授業

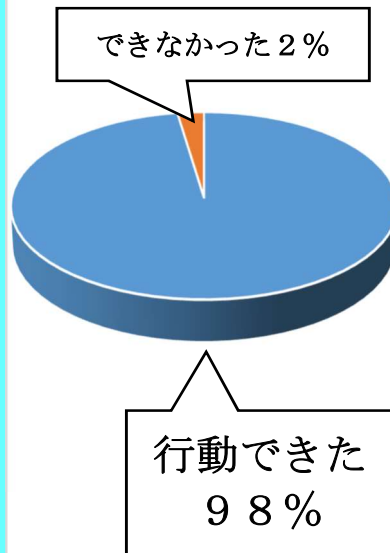
6月27日（火）に実施しました「幼稚園・小中学校合同引き渡し訓練」へのご協力、誠にありがとうございました。皆様の訓練へのご理解とご協力により、概ねスムーズに引き渡しを行うことができました。

参加していただいた方からのアンケート結果は、以下のようになりました。引き渡しまでの時間の短縮化や駐車場での安全な車の動線についてのご意見をいただきました。学校等の実態に応じて、できる限り改善してまいります。

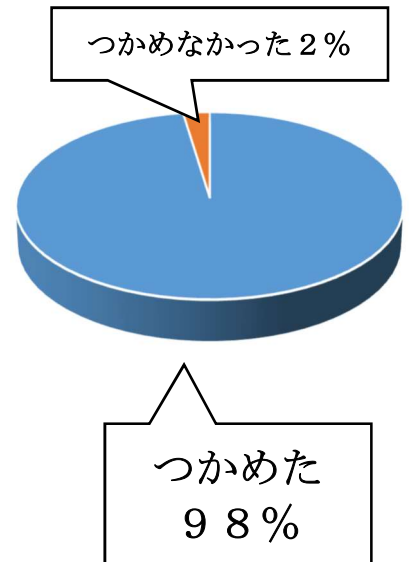
午後からは、一人一台タブレットを活用した「村一斉オンライン授業」を実施しました。こちらについても、保護者の皆様のおかげで大きな問題なく進めることができました。

災害はいつ起きるかわかりません。だからこそ、子どもたちの安全と学びを守るために日頃から準備をしていきたいと考えています。

学校・園に到着後、引き渡しまでは迷わずに行動できましたか。



訓練を通じて引き渡しの流れはつかめましたか。



民間塾を活用した補充学習

今年度も、高校受験を控える中学3年生を対象に、民間塾の講師を活用した補充学習を実施し、学力面についてより手厚く支援していきます。

天栄中学校を会場に、7月12日（水）の放課後から始まりました。今回も、数学科、英語科それぞれについて、基礎か応用のどちらかを選択することができるようにしました。

夏季休業期間中までを前半の取組として実施し、受験シーズンに入る11月から後半を実施する予定です。



【学校・園 夏季休業（夏休み）】

7月21日（金）～8月24日（木）

【学校閉庁期間】8月12日（土）～8月16日（水）

生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択できる環境を整え、「愛村心を育むふるさと教育」を目標に取り組んでいます。そうした村民の主体的な学習活動を支援し、習得した知識を地域へ還元できる人づくりを推進していきます。

○全国大会・東北大会出場報告会

7月10日(月)、十文字湊さん(広戸小学校2年)と駒木根蒼生さん(白河高校3年)の全国大会・東北大会出場報告会が行われました。

十文字さんは「ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会福島県大会」において、1・2年生男子の部で優勝し、8月に行われる全国大会への出場権を獲得しました。

駒木根さんは「第69回福島県高等学校体育大会剣道競技」の男子団体戦において3位入賞に貢献し、6月に行われた東北大会へ団体戦メンバーとして出場しました。

二人からは、大会の感想や次の目標などが述べられ、添田村長及び瀬和体育協会長からは労いの言葉がかけられました。



○つなぐ英語教育推進事業「セカクル」

令和5年7月8日(土)、天栄中学校において、天栄中生徒と早稲田大学の国際教養学部の学生を中心としたサークル「セカクル」が、英語プログラムを通じた交流を行いました。「セカクル」とは、「あなたの学校に世界がやってくる!」の略で、英語を使う面白さや国際的な視野から物を捉えることの大切さを伝えることを目的に全国各地の学校等で授業を行っており、本村では平成28年度から天栄中学校での授業を行っていただいております。

今回は、セカクルの学生13名が各クラスに分かれて授業を行い、「Traveling around the world」をテーマにゲームやグループワークを通して英語を学び、最後は天栄村の魅力グループごとに英語でまとめて発表を行いました。生徒たちは積極的にセカクルの学生と英語で交流を図り、有意義な時間を過ごしました。



○切り絵教室、チェアヨガ教室

てんえい村民教室の一環として7月6日(木)、切り絵教室を生涯学習センターで開催しました。受講者は専用のカッターナイフを使って、ネコや組細工模様などの制作に意欲的に取り組みました。

また、7月10日(月)には同じく生涯学習センターにおいて、チェアヨガ教室を開催しました。受講者は椅子に座って気軽にできるヨガのポーズに挑戦し、心地よい汗を流していました。



切り絵教室



切り絵講師の先生の作品
(文化の森でご覧いただけます)



チェアヨガ教室